

概要版

# 海津市高齢者保健福祉計画 ・介護保険事業計画

令和6年度～令和8年度



令和6年3月  
海津市

## ●計画の趣旨

わが国では、人口減少が進む中、高齢者人口(65 歳以上人口)は一貫して増加しています。今後、急激に高齢化が進行する地域もあれば、高齢化がピークを超える地域もある等、人口構成の変化や医療・介護ニーズの動向が地域ごとに異なります。国では、こうした地域ごとの中長期的な人口動態や介護ニーズの見込みを踏まえて介護サービスの基盤を整備するとともに、地域の実情に応じて、地域包括ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保、介護現場の生産性の向上を図るための具体的な取組内容や目標を検討することが重要であるとしています。

こうした状況を踏まえ、これまで進めてきた地域包括ケアシステムの強化や地域共生社会の実現に向けた取組と介護保険制度の持続可能性を確保していくことができるよう、中長期的な視点に基づく「海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定します。

## ●計画の位置づけと他計画との関係

本計画は、老人福祉法(昭和 38 年法律第 133 号)第 20 条の8の規定に基づく「市町村老人福祉計画」と、介護保険法(平成9年法律第 123 号)第 117 条の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」を一体的に策定した計画です。

また、海津市の最上位計画である「海津市第2次総合計画」の分野別計画としての性格を持つものです。さらに上位計画である「海津市地域福祉推進計画」については、重層的支援体制整備事業など、地域共生社会の実現に向けた取組との整合性を図るとともに、国及び県の関連計画などを踏まえながら施策の総合的かつ計画的な推進を図るものとしします。

## ●計画の期間

本計画の計画期間は、令和6年度から令和8年度までの3年間とします。

また、中長期視点として、海津市において介護サービス需要が増加・多様化するとともに現役世代の減少が顕著になる令和 22 年を見据えて計画を定めます。

## ●計画とSDGsの関係性

平成 27 年9月の国連サミットでは「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットが示されました。本計画においても、海津市総合計画に合わせ、特に関連性の高い次の9つの目標を取り上げ、めざすべき将来像の実現とともに、SDGs項目の達成を目指します。



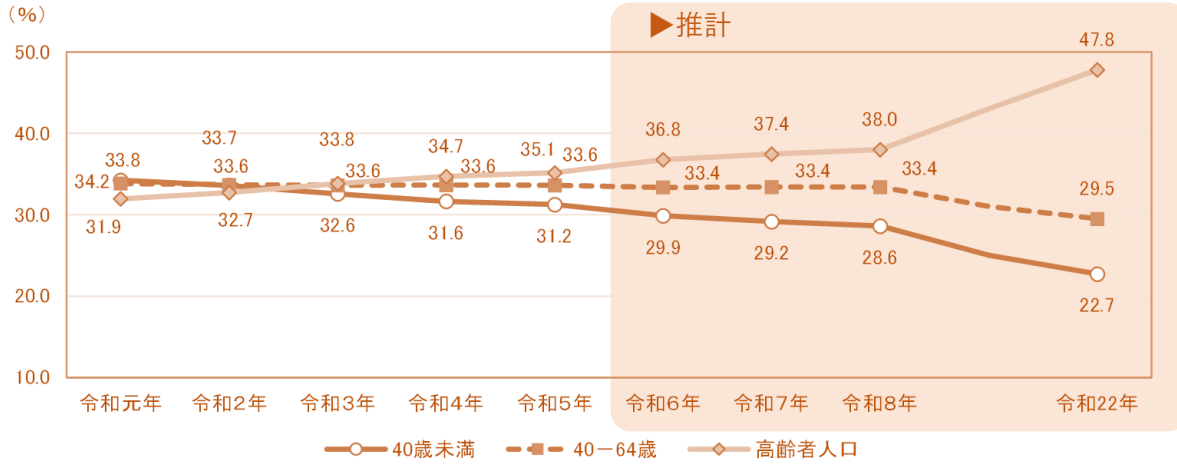
## ● 海津市の高齢者を取りまく状況

総人口は年々減少傾向にあります。高齢者人口割合は増加傾向にあります。

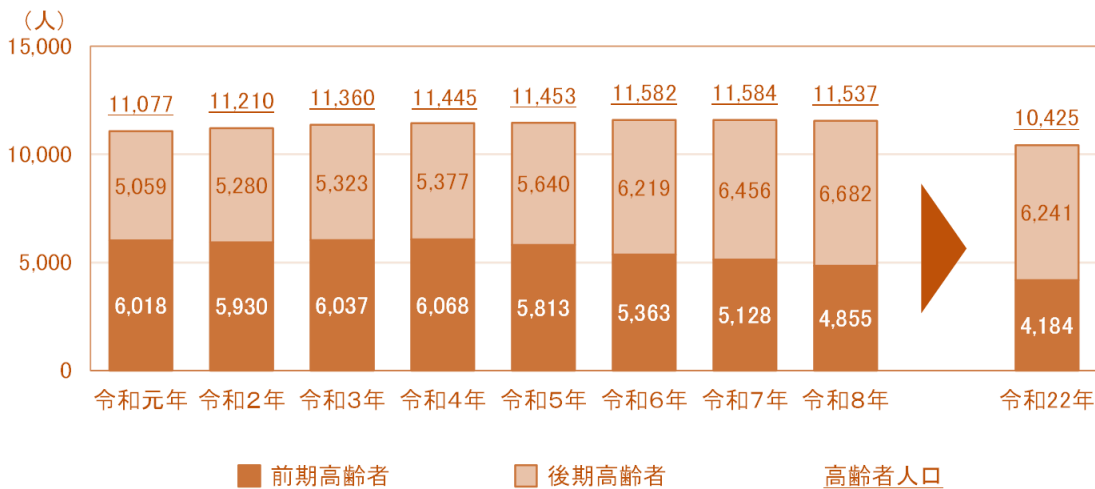
高齢者人口は年々増加し、令和6年には後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回ることが予測されま

す。

### ■ 人口割合の推移及び推計

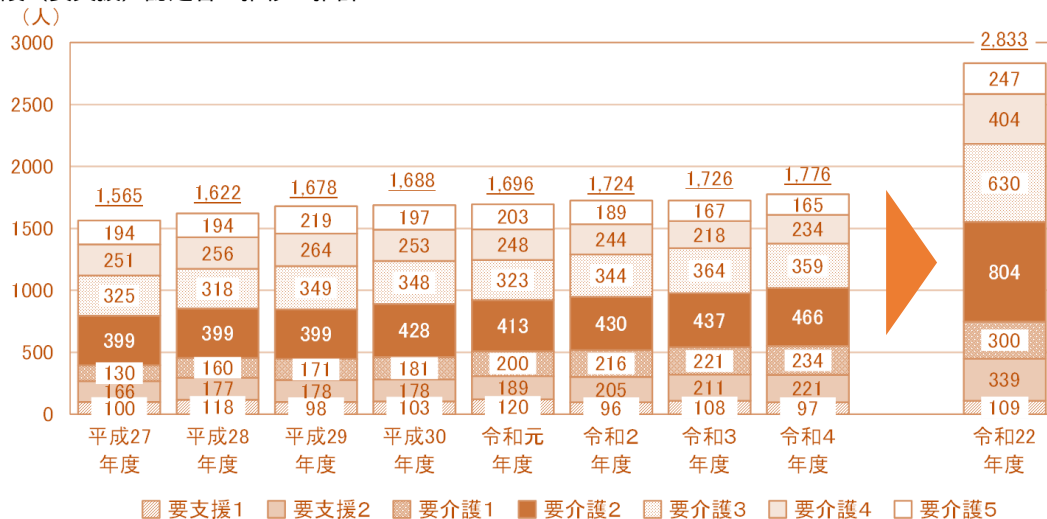


### ■ 高齢者人口の推移及び推計



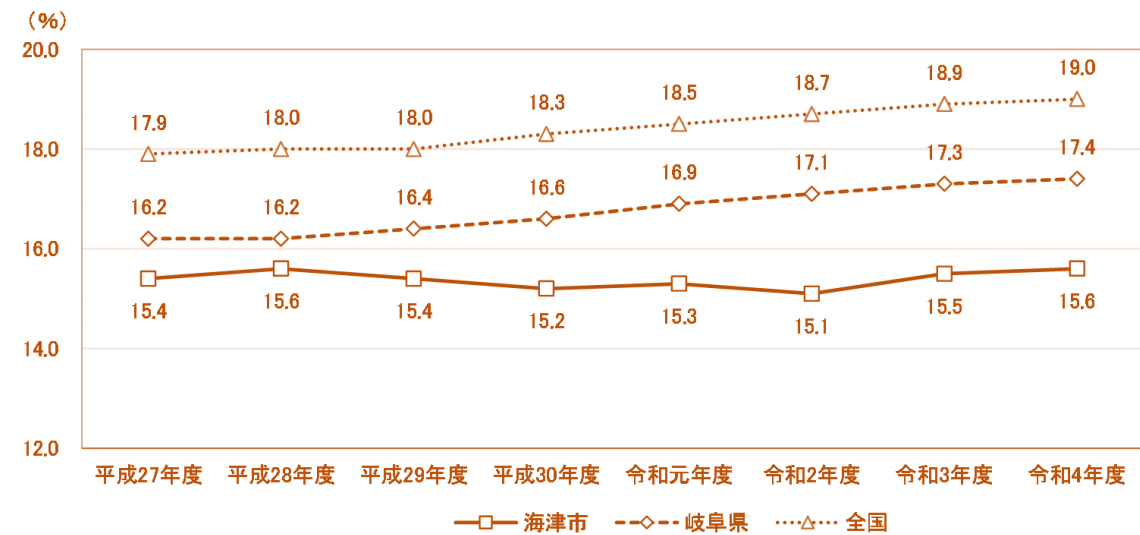
要支援・要介護認定者は、年々増加傾向にあり、平成27年度から令和4年度で211人増加しています。

### ■ 要支介護（要支援）認定者の推移と推計



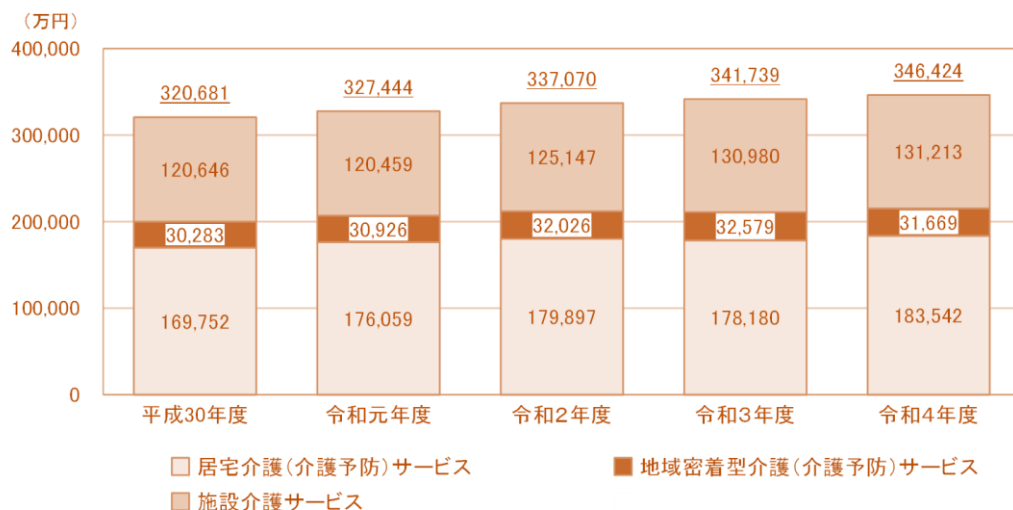
認定率を国、県と比較すると、国、県より低い水準にあります。平成27年度から一定して15%台で推移しています。

■ 認定率の推移（各年度3月末日）

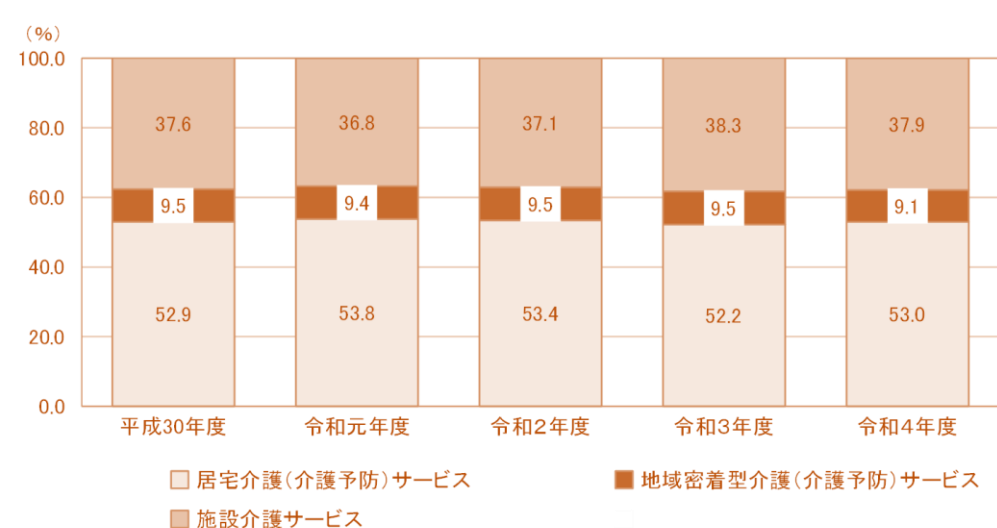


サービス費用額の推移をみると、年々増加傾向にあります。総費用額に占める各サービスの割合は、一定の水準で推移していますが、施設介護サービスの割合が近年微増傾向にあります。

■ 介護保険サービスの費用額の推移



■ 介護保険サービスの費用額の推移

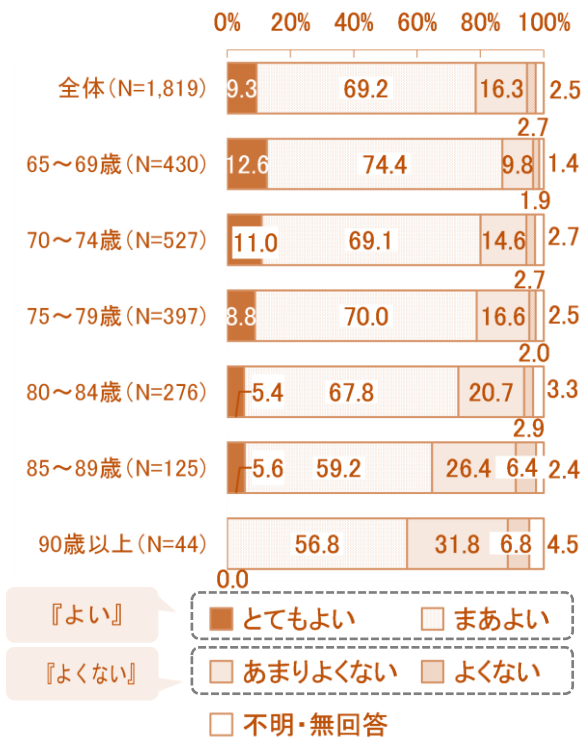


## ● アンケートからみる海津市の現状

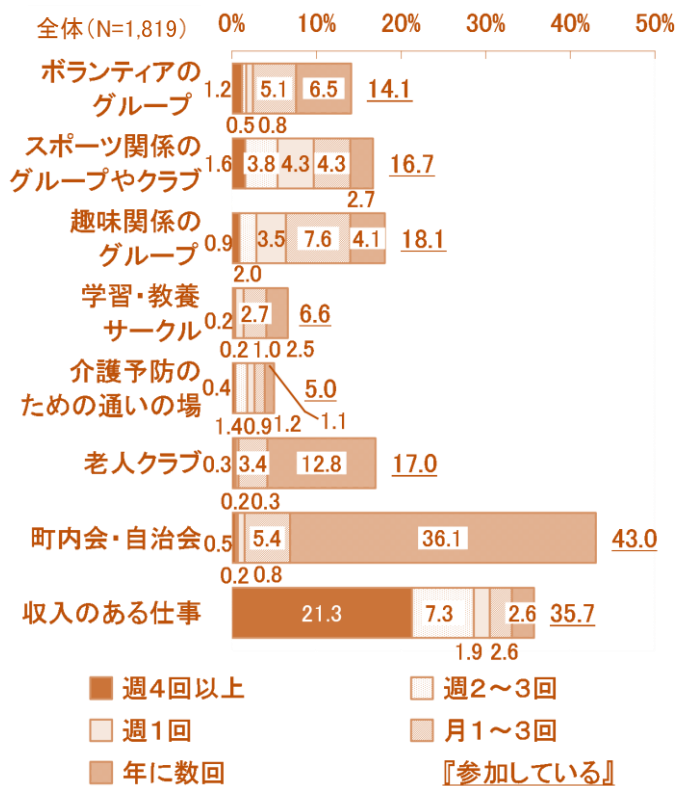
計画の策定にあたり、対象者及び関係者の実態と意向を把握し、計画策定の基礎的な資料とすることを目的として、アンケート調査を行いました。

- 現在の健康状態について、全体で『よい』が78.5%、『よくない』が19.0%となっています。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて『よい』が低くなっています。
- 会・グループの参加状況について、『参加している』が「町内会・自治会」で43.0%と最も高く、「町内会・自治会」の参加頻度は、「年に数回」が36.1%と最も高く、「収入のある仕事」では、「週4回以上」が21.3%と最も高くなっています。
- 介護が必要になった際の意向について、「介護保険の施設（特別養護老人ホームやグループホームなど）に入所したい」が26.3%と最も高く、次いで「自宅で、介護保険を利用した介護」が26.1%となっています。
- 主な介護者が不安に感じる介護について、「認知症状への対応」が49.0%と最も高くなっています。

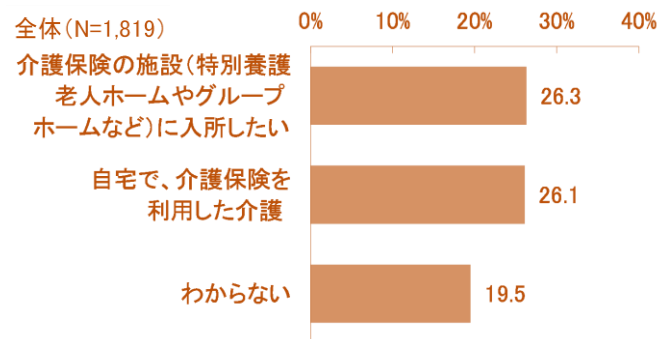
### ■ 現在の健康状態



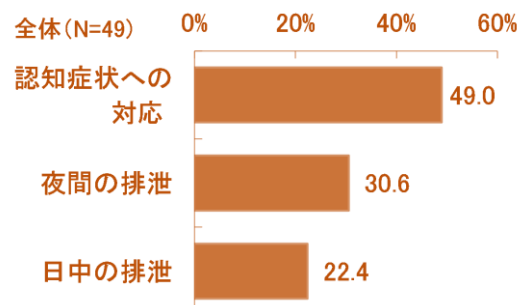
### ■ 会・グループの参加状況



### ■ 介護が必要になった際の意向（上位3位）



### ■ 主な介護者が不安に感じる介護（上位3位）



## ● 基本理念

海津市では、高齢者をはじめ、全ての市民が住み慣れた地域でともに支え合いながら、心豊かで生きがいを持ち、安全で快適に暮らすことのできる地域づくりを推進するため、社会全体で高齢者を支える共生社会づくりを目指してきました。

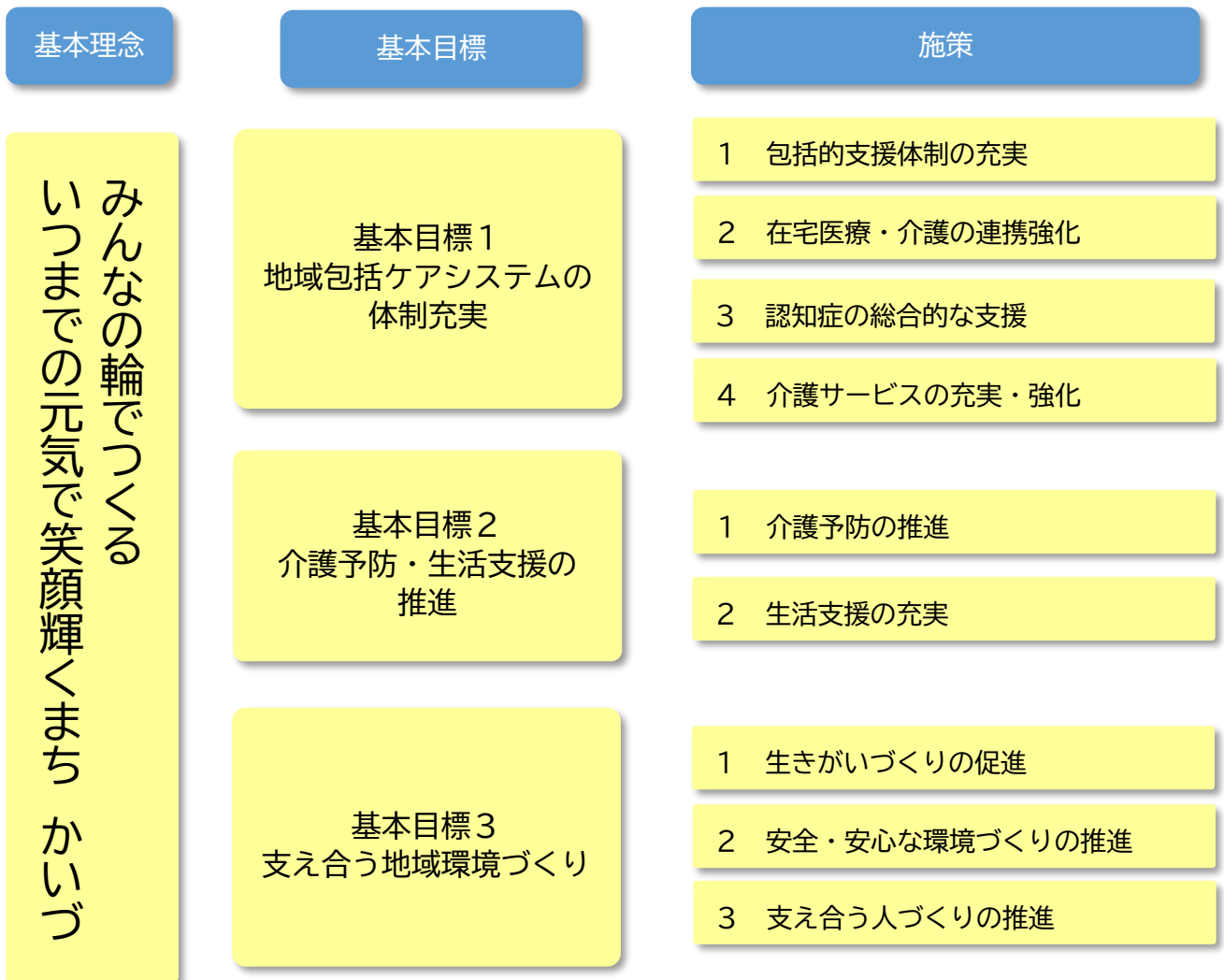
本計画では、誰もが安心して暮らせる地域共生社会を目指すために、『みんなの輪でつくる いつまでも元気で笑顔輝くまち かいづ』を計画の基本理念とします。

# みんなの輪でつくる いつまでも元気で 笑顔輝くまち かいづ

## ● 施策体系

本計画の基本理念の実現に向け、以下の体系に沿って計画を推進します。

### ■ 施策体系





## ● 施策の展開

### 基本目標 1 地域包括ケアシステムの体制充実

- 地域包括支援センターの機能を強化するとともに、地域の各団体や専門職等が連携し、市民主体の活動を促進することで高齢者が安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりを進めます。
- 認知症対策や在宅復帰支援を充実するため、地域資源をネットワーク化することで、面的な支援体制の整備を推進します。
- 高齢者が安心して利用できる市内の介護サービスを維持していくために、健全な介護保険運営に取り組みます。

#### 基本目標 1-1 地域包括支援体制の充実



少子高齢化や人口減少、地域社会の脆弱化など社会構造の変化の中で、地域住民の抱える課題やニーズは複合化・複雑化しており、包括的支援体制の強化が必要です。

##### 【施策の方向性】

- ◆ 地域包括支援センターを中心とした総合的な相談・調整機能を活かし、より切れ目のない包括的な支援を行います。
- ◆ 高齢者の虐待防止や権利擁護に向けた体制整備の強化及び周知啓発を図ります。
- ◆ 地域包括ケアシステムの実現に向けて、地域ケア会議において多職種から個別ケースの地域課題の分析、課題意識の共有及び地域資源開発等を行います。

このような  
取組を  
進めます

- 総合的な相談支援の実施
- 見守りネットワークの維持・強化
- 成年後見制度の利用促進
- 高齢者虐待防止ネットワークの強化
- 高齢者虐待防止の啓発
- 地域ケア会議

#### 基本目標 1-2 在宅医療・介護の連携強化



令和 24 年には、本市で高齢者人口が総人口の4割を超えることが見込まれています。また、高齢単身世帯の増加に加え、慢性疾患や複数の疾患を抱える高齢者が増加しており、これまで以上に医療と介護の連携の必要性が高まっています。

##### 【施策の方向性】

- ◆ 高齢者の在宅生活の継続を支援するため、在宅医療と介護の連携体制の強化を行い、切れ目のない支援のためのネットワークを構築します。
- ◆ 生活習慣病等の疾病から要介護状態になることを防止するため、かかりつけ医の啓発を推進します。
- ◆ 急病時にも対応できる救急医療体制の周知を図ります。

このような  
取組を  
進めます

- 在宅医療・介護連携部会
- 在宅医療・介護連携コーディネーターの配置
- 研修会の開催
- かかりつけ医の重要性の啓発
- 「海津市医療・介護べんり帳」の活用
- 医療・介護連絡ノート（つながり）の活用

### 基本目標 1-3 認知症の総合的な支援



今後、後期高齢者の増加に伴い、さらなる認知症高齢者の増加が見込まれるため、施策のより一層の充実が求められます。

#### 【施策の方向性】

- ◆ 地域で暮らす認知症の人やその家族に対する支援体制を構築するとともに、市民の認知症への理解促進や認知症予防に努めます。

このような  
取組を  
進めます

- 認知症初期集中支援事業
- 認知症ケアパスの活用
- キャラバン・メイト連絡会の開催
- 認知症サポーターの養成講座
- 若年性認知症についての周知啓発
- 徘徊高齢者等SOSネットワーク事業
- 認知症地域支援推進員の配置
- 認知症介護予防教室の開催
- 認知症カフェの促進
- 認知症相談事業の実施

### 基本目標 1-4 介護サービスの充実・強化



介護保険制度の持続可能性を確保し、利用者が必要とする介護サービスを過不足なく安心して利用できるようにするためには、介護給付の適正化に係る取組を推進する必要があります。

#### 【施策の方向性】

- ◆ 介護保険サービスの利用状況を正確に把握し、介護保険事業が円滑かつ適正に運営されるよう介護サービス提供体制の整備を図ります。

このような  
取組を  
進めます

- 介護サービスの充実
- 働きやすい環境づくり
- ケアマネジメントの質の向上
- 介護給付等費用の適正化
- 介護人材の育成・確保
- ICTの活用・業務効率化の推進
- サービス評価の実施

### 基本目標 1 の指標

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和8年度)
地域包括支援センター総合相談 延べ件数	6,379 件	6,500 件
地域ケア個別会議の開催回数	15 回	15 回
認知症サポーター養成講座の延べ受講者数	4,462 人	5,200 人





## 基本目標 2 介護予防・生活支援の推進

- 多様化する高齢者のニーズに対応した介護予防の取組を展開し、地域での健やかな暮らしの継続を支援します。
- 生活支援については、生活支援コーディネーターや生活支援サービス部会を中心として、地域課題・高齢者の生活課題を抽出し、支援を推進します。
- 要介護状態への進行を防止するため、介護予防と保健事業を一体的に推進します。

### 基本目標 2-1 介護予防の推進



高齢者が自立した生活を送り続けるためには、健康寿命の延伸が重要です。安心して在宅生活を続けられるよう、介護予防サービスの充実が必要となります。

#### 【施策の方向性】

- ◆ 高齢者の在宅生活の継続や健康寿命の延伸、給付適正化等につなげるための介護予防を推進します。
- ◆ 要介護状態になるおそれのある高齢者を把握し、運動や外出等を促進することで、介護予防事業を展開します。

このような  
取組を  
進めます

- 訪問型サービス
- 住民による訪問型サービス（訪問型サービスB事業）
- 介護予防ケアマネジメントの充実
- 介護予防普及啓発事業
- 地域リハビリテーション活動支援事業
- 保健事業と介護予防の一体的実施事業
- 通所型サービス
- 介護予防把握事業
- 地域介護予防活動支援事業

### 基本目標 2-2 生活支援の充実



1人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみ世帯が増加し、日常生活上の困りごと（家事・買い物・ごみ出し・移動等）への支援ニーズが高まる中、地区住民等による多様な生活支援サービスを充実していくことが求められています。

#### 【施策の方向性】

- ◆ 介護予防サービスだけでは解決できない、多様な生活課題について、生活支援サービスの実施や地区ごとの自主的な取組への支援を行います。

このような  
取組を  
進めます

- 生活支援コーディネーターの配置
- 生活支援サポーター養成講座の実施
- 在宅介護支援センターの充実
- 高齢者補聴器購入費助成事業
- 介護用品支給事業
- 生活支援サービス
- 緊急通報システム事業
- 見守りメッセージ事業
- 地区拠点施設の運営支援

### 基本目標 2 の指標

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和8年度)
要介護(要支援)認定率	15.9 %	16.5 %
介護予防リーダーの登録者数	23 人	35 人
生活支援サポーターの数	167 人	200 人

## 基本目標3 支え合う地域環境づくり

- 高齢者が生きがいを持てるよう多様な地域活動を支援するとともに、高齢者の社会参加を促進することによって地域において支え合う環境づくりを推進します。
- 就労、生涯学習、スポーツ活動、世代間の交流、ボランティア、まちづくり等の地域活動を含めた幅広い社会参加や多様な交流の場の整備を各種関係団体と協働で進めます。
- 福祉教育やバリアフリー化など、高齢者だけでなくすべての人にやさしいまちづくりを進めます。

### 基本目標3-1 生きがいづくりの促進



超高齢社会の中で、活力ある高齢者が地域で最大限に力を発揮するために、高齢者の社会参加を促進することが重要です。

#### 【施策の方向性】

- ◆ 高齢者の地域の居場所や交流の場づくりを進めるとともに、高齢期に入っても元気な高齢者や活躍し続けたい高齢者に活躍の場を提供します。

このような  
取組を  
進めます

- シルバー人材センターの活動支援
- 高齢者の就労支援
- 老人クラブ活動の充実
- 生涯学習機会の拡大
- 多世代交流の促進
- 通いの場の充実
- 生涯スポーツ・レクリエーション機会の拡大

### 基本目標3-2 安全・安心な環境づくりの推進



超高齢社会の中で、活力ある高齢者が地域で最大限に力を発揮するために、高齢者の社会参加を促進することが重要です。

#### 【施策の方向性】

- ◆ 高齢者が安全・安心に暮らせる環境づくりを支援するために、バリアフリー化の推進や、防災・防犯等に関する体制整備や啓発活動を推進します。

このような  
取組を  
進めます

- 利用しやすい公共空間の整備
- 交通手段の確保
- 防災体制の充実
- 防犯対策の充実
- 交通安全対策の推進
- 感染症対策の推進
- BCP 策定の支援



### 基本目標3-3 支え合う人づくりの推進



高齢者が孤立することなく地域で暮らしていけるよう、地域全体で高齢者を支える環境を整備することが必要です。

#### 【施策の方向性】

- ◆ 高齢者が安心して地域で暮らしていけるよう、市民の福祉意識を醸成するとともに、地域の見守りボランティアの参加意識の向上に取り組みます。

このような  
取組を  
進めます

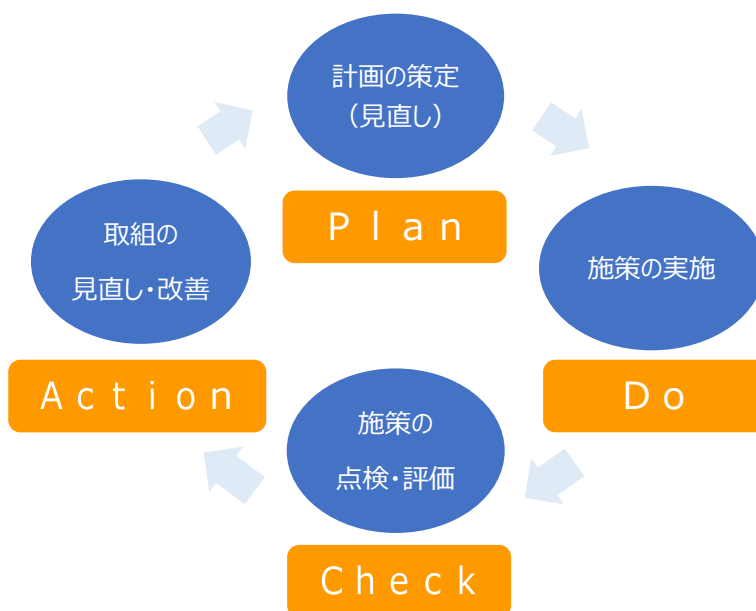
- 市社協、地区社協との連携
- 福祉ボランティア活動の活性化
- 地域の保健福祉人材育成
- 高齢者見守りネットワーク事業

### 基本目標3の指標

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和8年度)
シルバー人材センター就業率(就業者数/登録者数)	89.8 %	92 %
高齢者見守りネットワーク協力事業所数	162 事業所	170 事業所

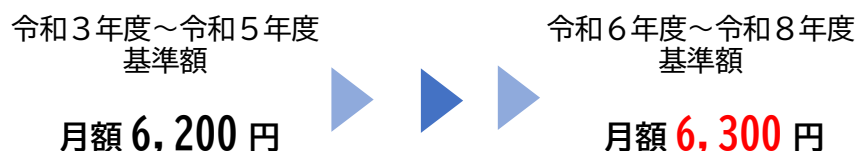
## ● 計画の推進体制

本計画の主な取組の方向性の状況や数値目標の達成状況について評価を行い、その後施策・事業に反映できるよう、PDCAサイクル（計画の策定（見直し）－施策の実施－施策の点検・評価－取組の見直し・改善）による効果的な進行管理を行います。



## ● 介護保険料

海津市においては、令和6年度以降の介護保険料基準額を 6,300 円とし、所得段階に応じて 0.445 倍から 2.4 倍の保険料となります。



### ■ 第1号被保険者の介護保険料の見込み

保険料段階	介護保険料（月額）	介護保険料（年額）	基準額に対する割合
第1段階	1,800 円 (2,800 円)	21,600 円 (33,600 円)	0.285 (0.445)
第2段階	3,060 円 (4,320 円)	36,700 円 (51,800 円)	0.485 (0.685)
第3段階	4,320 円 (4,340 円)	51,800 円 (52,100 円)	0.685 (0.69)
第4段階	5,670 円	68,000 円	0.90
第5段階	6,300 円	75,600 円	1.00
第6段階	7,880 円	94,500 円	1.25
第7段階	8,500 円	102,000 円	1.35
第8段階	9,760 円	117,100 円	1.55
第9段階	10,710 円	128,500 円	1.70
第10段階	11,970 円	143,600 円	1.90
第11段階	13,230 円	158,700 円	2.10
第12段階	14,490 円	173,800 円	2.30
第13段階	15,120 円	181,400 円	2.40

※年額は 100 円未満については端数調整

※（ ）は、消費税を財源とした国の軽減措置を含まない場合の値

海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 概要版 令和6年3月発行

発行：海津市 編集：高齢介護課

〒503-0695 岐阜県海津市海津町高須 515 TEL 0584-53-1145 FAX 0585-53-0443